

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	上川管内電算事務共同処理協議会			代表者名	会長 山本進
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	事務局	連絡先電話番号	0166-83-2335
担当者役職	事務局長	担当者氏名	長野泰定	連絡先E-mail	
住所	071-1511 北海道東神楽町北1条西1丁目3番16号				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	東神楽町	連絡先部署	総務課		
担当者氏名	深田佑斗	連絡先電話番号	0166-83-2112	連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名（予定）	DX推進の広域連携
概要	DX推進の広域連携を推進するための職員研修に対する支援		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 自治体システム標準化・共通化		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年12月16日	支援・助言&講演(実地)	10時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	360
2-2. 派遣場所	会場名	東神楽町コミュニティセンター	最寄駅	旭川空港	
	所在地	北海道上川郡東神楽町北1条西1丁目1番13号	最寄駅からの交通手段	旭川空港から車で5分程度。公用車で送迎も可能です。	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	行政マンとしての豊富な経験に基づいた講演内容は、自治体関係者に対して説得力があります。
アドバイザーへの要望事項	これ以上の要望はございません。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	103人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	64		39	
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）				
	そもそもどうして自治体がDXを進める必要があるのかわからないという課題。自治体DXを進める手順が解らず、何から手をつければよいかわからないという課題。職員数が減少していくことが解っているが、行政運営を継続していくためにどういう取り組みが効果的なのか分からないという課題。				
	支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）				
	講演会を通して次の成果を目指した。 ・自治体DXとは何かをイメージし、理解できることを目指した。 ・自治体DXを進める手順を具体的にイメージできることを目指した。 ・市町村連携が必要であるという機運の醸成を目指した。 ・これらを地方自治体とIT関連企業で共通理解を図ることを目指した。				
	アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）				
	2日目（12月16日）は講演会当日でした。講演会のフライヤーは別添のとおりです。基調講演「自治体DX推進による新たな行政サービス」と題して登壇していただきました。「DX推進における課題と展望 ～専門家と考える～」と題してパネルディスカッションのパネラーとして登壇していただきました。				

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	自治体がDXに取り組む背景について理解を深めることができた。 国が進める行政デジタル化について理解を深めることができた。 DX推進による新しいサービスについて、おせっかい型アウトリーチなど具体的にイメージすることができた。 自治体職員の悩みをIT関連企業側が理解できたようなので、今後の官民連携がよりスムーズになる。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	高橋邦夫アドバイザーの基調講演を聴いて、今後は、私たち自治体職員側でDX分野での市町村連携を実際に進めていき、住民サービスの向上につなげていきます。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。  市町村職員の回答 「人口減少に向けて、次世代が働きやすい職場づくりの意識が身についた」「DXの方向性について学ぶことができました」「DXの概念を再確認できました」「DXを進める際の順序を理解できた」「発想の転換、テレワークの考え方、おせっかい型アウトリーチについて理解できた」  IT関連企業さまの回答 「自治体業務でのDXの進め方の考え方が、大変参考になりました」「広域化の可能性について、自社でできる事業範囲などを考える良い機会になった」「自治体がこれから向かっていく先・姿についてどんな悩みを持たれているのか勉強になりました」	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	当協議会は上川中央部の7町で構成しているが、今後は、上川管内19町村によるDX分野での市町村連携を考える場において、当協議会の価値提案をしていきたい。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	まずは、今回のアドバイザー派遣を契機に、上川管内19町村のDX分野などにおける地域連携を模索する機運を高め、住民サービスの向上につなげたい。 具体的には、「行政内部事務のデジタル化(ツールの活用や事務ルール改正手法)」のうち優れた取り組み事例などを共有したり横展開したりする連携体制を構築するなどして、それぞれの町村の一般管理業務の行政効率を高めることで、住民サービスの向上につなげたい。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子  
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

